地域包括ケアのためのアカデミックGP養成拠点 （富山大学医学部）

課題
・超高齢化、医師数の地域格差、地域医療崩壊、診療科偏在
・養成ゾーン（教育・研究・政策）と実践ゾーン（地域医療・多職種連携）の乖離

対応
オール富山・地域包括ケアシステムを構築するために、大学に総合診療イノベーションセンターを設置し、アカデミックGPを養成し、養成ゾーンと実践ゾーンを一本化して、現場の課題を研究し、解決する。

CIGM－Toyama

とやま総合診療イノベーションセンター
Center for innovation of general medicine in Toyama

センター運営委員会

事業評価委員会
学内委員＋学外委員

アドバイザーボード
学外委員

コーディネート担当部門
コーディネーター養成、課題調査

研究担当部門
研究者養成、疫学・臨床研究

教育担当部門
教育者養成、外来診療、入院診療
転職・女性医師復帰支援

専門研修担当部門
救急医療、産婦人科、和漢診療、他の専門診療科

コース修了認定委員会　厳格な修了認定

オール富山・地域包括ケアシステム

実践ゾーン
地域医療・多職種連携
5職種、市町村・住民

医療・看護
福祉
保健
介護
生活支援
市町村・地域住民

"Community Campus Partnership for Health"

地域・大学一本化

養成ゾーン
（教育・研究・政策）

富山大学
県・市
医療機関
医師会
海外施設
家庭地域医療センター

高齢者

南砺市モデル

【住民参加型ネットワーク作り】
保健医療、福祉、生活支援関係者との連絡協議会の設置

・富山市・富山県モデルへ！
・さらに、日本の未来型地域包括ケアシステムの創成へ！

アカデミックGP養成プログラム

2つのゾーンのアカデミックGPが地域医療の現場の課題を研究し、課題を解決する
To achieve "community based participatory research"

実践ゾーンアカデミックGP
（地域医療・他職種連携）

アウトプット

養成ゾーンアカデミックGP
（教育・研究・政策）

実践ゾーンへ
20名/5年

アカデミックGP修了

養成ゾーンへ
12名/5年

アカデミックGP育成

2年間

養成ゾーン

⑩コーディネーター（C）養成コース
⑨研究者（R）養成コース
⑧教育者（E）養成コース

転職（専門医）
復帰（女性医師）

ステップ4
（インテンシブ・コース）
総合診療
フェローシップ
○実践ゾーンGP養成
○教育ゾーンGP養成

実践ゾーン

⑦ホスピタリストコース
⑥在宅医療スペシャリストコース
⑤総合診療+専門科コース
④転職/復帰支援コース

評価、次ステップへ

専門医養成

5年間

ステップ3　後期研修3年
ステップ2　前期研修2年

③ライセンス取得コース
②総合診療医コース
（ライセンス準備コース）

評価、次ステップへ

初学者支援

6年間

ステップ1　（学生教育）
地域臨床実習（全学生）
特別枠・地域枠

①地域医療臨床実習コース
1・2年：介護体験実習、課外研修
3・4年：地域医療の講義、課外研修
5年：地域連携型臨床実習
6年：選択制臨床実習
1-6年:特別枠・地域枠のためのキャリアパス

2016年(平成28年)度の取り組み

1)イノベーションセンターの活動

・トロント大学との連携（指導医招聘）：イノベーション、医療の質向上

・研究支援（医療統計の研修とデータ解析、住民意識調査）

2)地域包括ケアシステムの構築

・南砺市、富山市、および朝日町で
地域活性・健康まちづくりマイスター講座の継続。

・富山市の地域包括ケア施設構想

・多職種連携教育/実践　　・保健師-医師協働活動

3)総合診療医育成

・後期研修プログラムとポートフォリオ勉強会/学生勉強会

・フェローシップコースの充実（在宅医療推進、臨床推論/EBM等）

・研究（質的研究）　　・シミュレーション教育

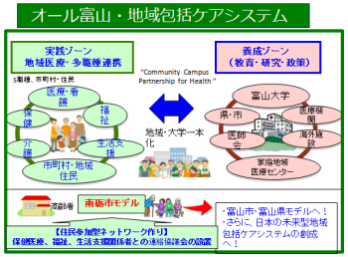
研究・教育・診療実践：10プロジェクト

General Lab

(総合診療研究プロジェクト部門開設)

①トロント大学連携
イノベーション・医療の質向上
Innovation・Quality Improvement

②地域住民意識調査
Community Attitude Survey



③地域包括ケアシステム推進
Community Integrated Care

④多職種連携教育・実践
Inter-professional education/work

⑤保健活動協働プロジェクト
Public Health Promotion

⑥家庭医療/総合診療人材育成プログラム
Family Medicine/
General Internal Medicine
Residency Program

⑦臨床推論/EBM
Clinical Reasoning/
Evidence Based Medicine

⑧在宅医療推進プログラム
Home Care Program

⑨質的研究
Quality Research

⑩シミュレーション教育
Simulation Education

2014.1月

2014.11月

2015.10月

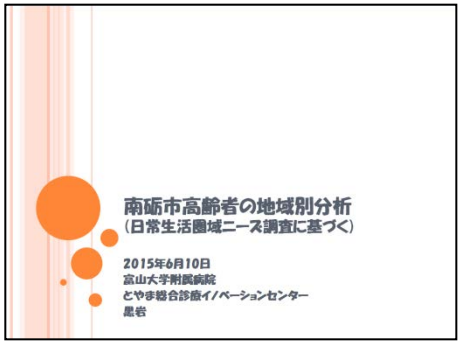
とやま総合診療
イノベーションセンター
(CIGM-Toyama)
①トロント大学との連携
（総合内科/家庭医療科）
プロジェクト

2016.10.17（月）～10.21（金）
院内講演3回、 院外講演2回

南砺市
②地域住民意識調査
プロジェクト

1月9日(水):講義スケジュール

時間	講義テーマ	講義内容
13時～14時30分(90分)	基礎疫学と研究レビュー・報告	・疫学研究デザイン・指標 ・バイアスと交絡 ・妥当性と信頼性 ・既存研究・論文レビューの際のポイント ・調査・分析時の留意点　など
(10分)	休憩	
14時40分～15時10分(30分)	研究計画と倫理	・仮説構築、研究計画書作成 ・研究倫理審査手続き　など
15時10分～16時10分(60分)	研究発表	・現在の研究状況についての(受講者などによる)プレゼン ・質疑応答と講師によるコメント



第1期～第7期310名のマイスターの内訳

マイスター養成講座受講者分類

	住民		専門職		行政		その他		合計	
1期	男 0	13	男 5	22	男 2	9	男 0	6	男 7	44
	女 13		女 17		女 7		女 6		女 37	
2期	男 0	11	男 7	22	男 1	14	男 1	7	男 3	43
	女 11		女 15		女 9		女 6		女 35	
3期	男 2	11	男 5	20	男 1	6	男 1	1	男 11	38
	女 9		女 13		女 5		女 0		女 27	
4期	男 0	11	男 7	20	男 2	8	男 1	2	男 10	41
	女 11		女 13		女 6		女 1		女 31	
5期	男 0	6	男 10	27	男 2	10	男 1	1	男 13	44
	女 6		女 17		女 8		女 0		女 31	
6期	男 5	19	男 6	25	男 3	9	男 0	0	男 14	50
	女 10		女 19		女 3		女 0		女 32	
7期	男 8	22	男 6	24	男 0	4	男 0	0	男 14	50
	女 14		女 18		女 4		女 0		女 36	
合計	男 19	93	男 46	160	男 11	51	男 3	16	男 81	310
	女 74		女 112		女 40		女 1		女 229	

合計310名:男81名(26%)　女229名(74%)
住民:93名(30%)　専門職:160名(52%)　行政:53名(17%)　その他:4名(1%)

主な分類

住民	連合婦人会、女性議会、自治振興会、個人参加
専門職	南砺市民病院、公立南砺中央病院、訪問看護ステーション、医療施設職員、介護施設職員
行政	保健センター、包括支援センター、その他の行政職
その他	企業関係者

7年間の評価は？

評価①
マイスター講座修了者への意識/行動変化

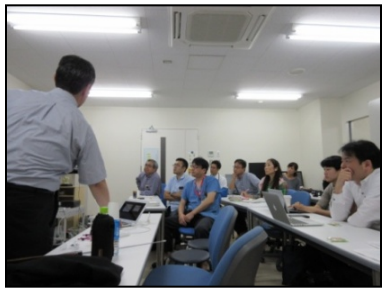
- 第1期～第6期終了者260名のうち発送可能者234名へアンケート用紙を郵送
- 153名の回答があった(回収率:153/234=65.4%(全体では、153/260=58.8%))

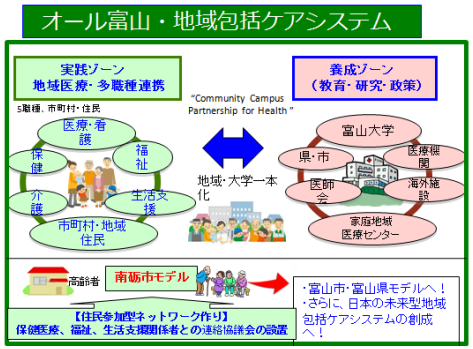
	住民	専門職	行政	その他	合計
1期	11	19	7	0	37
2期	9	16	9	0	34
3期	9	17	5	1	32
4期	11	20	7	2	40
5期	6	25	9	1	41
6期	19	25	6	0	50
合計	65	122	43	4	234←アンケート発送数

結果:意識変化は修了者の6割が、行動変化は4割。
驚いたことに、
住民グループでは5割の人が行動変化を回答。

⑨質的研究推進
プロジェクト

10月8日にセミナー開催した。
今後WSを企画する。





③住民参加型の地域包括ケアシステム構築プロジェクト

超高齢社会に向けて、地域包括ケアを正しく理解し、
住民、行政および専門職が連携して地域包括ケアシステムを構築し、
各人が自分の役割を積極的に実践する。
そのために、人材育成としてマイスター養成講座を企画した。

- 第8期：地域包括医療・地域活性化マイスター養成講座（南砺市）（8年間で350名）
- 第3期：健康まちづくりマイスター養成講座（富山市）（3年間で313名）
- 第2期：地域包括ケア活性化マイスター養成講座（朝日町）（2年間で90名）
- 第1期：健康なまちづくりマイスター育成事業（高岡市）（2年間で69名）

（人材育成：3年間で612名、8年間で822名）

富山市

南砺市

朝日町

地域包括ケアシステムモデル：Community-Campus Partnership for Health Care
「南砺市モデル：地域・大学パートナーシップモデル」

2016.10月　現在

（能動的な）意識・思考改革

8年前の医療崩壊からスタート：

①医師不足、診療科の偏在、②病院の診療所化、②高齢化率、③医療人と住民の意識の乖離
→南砺市は、十分な医師確保が期待できないこの10年間、今後の医療崩壊を阻止するために
医療人と住民が連携し、ともに地域医療を守る努力が必要である。しかし、約2年間の**在宅医療推進セミナーの講演活動のみでは行動は起こらなかった。**

（受動的な）セミナー×

実践の姿：8年間の状況

「みんながイキイキ」

8年間：人材育成の継続
10か年計画で400名以上のマイスターを養成した。
介護保険全国サミットを成功させた。

8年間のまとめ：
①**地域医療再生マイスター養成講座**（第1-8期）：**350名**のマイスターが誕生
②**南砺の地域医療を守り育てる会**：第1回-第22回：**年3回**のペースで開催
③**各グループの取り組み**：毎回発表し、**継続的な取り組み**となっている
④**行政-住民-医療者の連携**が**目に見える形**になりつつある。

継続のステップ：
ステップ1：**自己の意識・思考改革**：**"自分ごと" 4画面思考法**
ステップ2：**グループ活動**：講座でのグループ内意見交換、各グループ活動
ステップ3：**発表する場**：守り育てる会、グループ間交流
ステップ4：**行政-住民-医療者の連携**：行政の力、南砺市全体への広がり
ステップ5：**取り組みの評価**：成果がでているか、評価基準

キーワード：
人が育つことは楽しい
『教育空間』創成
南砺市

①地域医療再生マイスター養成講座
（第1-8期）：**350名**のマイスターが誕生

②南砺の地域医療を守り育てる会
第1回-第22回：**年3回**のペースで開催

2012.3.24後期研修医報告会　in南砺市民病院

後期研修医が病院職員の前で、1年間の成果を発表した。

（能動的な）行動改革

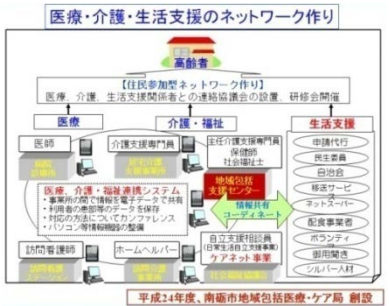
③各グループの取り組み
1)**地域で医師養成：**
　家庭医養成プログラム
　（富山大学総合診療部-南砺市民病院連携）
2)**地域で訪問看護・リハ養成：**
　ナースプラクティショナー的ナース養成講座
3)**なんと住民マイスターの会（住民グループ）**
　思い出ガイド養成講座
4)**五箇山グループの取り組み（住民グループ）**
　栃餅作り講座
5)認知症ケアの取り組み（地域包括支援センター）
6)包括医療・ケアWGの取り組み（行政）
7)その他

地域包括ケアシステムの構築へ

④行政-住民-医療者の連携
地域包括医療・ケア局の設置

田中南砺市長

（能動的な）改革の輪



（第8期:2016年(平成28年)）
南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

会場：南砺市役所福野庁舎　2階　講堂　　時間：午後6時30分～9時

実施日程：

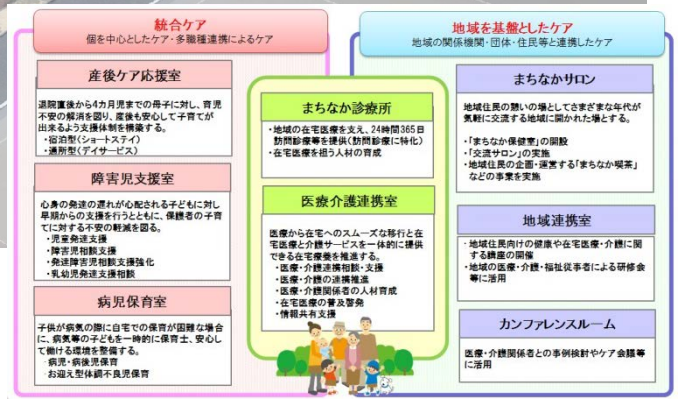
第1回　平成28年9月16日（金）近藤修司先生　　第2回　平成28年9月30日（金）堀田聡子先生
第3回　平成28年10月14日（金）南眞司先生　　第4回　平成28年10月28日（金）井階友貴先生
第5回　平成28年11月11日（金）まとめ（山城）

富山市中心市街地

質の高い魅力的な市民生活づくり ～公民連携による健康拠点の整備～

立山あおぐ特等席。富山市

地域包括ケア施設の整備を含む旧総曲輪小学校跡地活用事業については、市有地の有効活用及びコスト削減、都市機能の整備等の観点から、事業者の自由提案により、公共施設との相乗効果が期待できる民間施設を整備



2017年(平成29年)4月開業： 総合診療医3名派遣予定

オランダの地域ケア（ビュートゾルフ）の研究
地域包括ケアステーションの実証開発プロジェクト後
南砺市と富山市で継続

2014年3月にオランダの地域ケア（ビュートゾルフ）の研究を開始し、
9月に第1回オランダ研修に参加した。2015年3月よりオレンジクロス財団主催の
地域包括ケアの実証開発プロジェクトに参加した。富山県からは
富山市と南砺市が参加し、大学はバックオフィス機能として取り組んでいる。

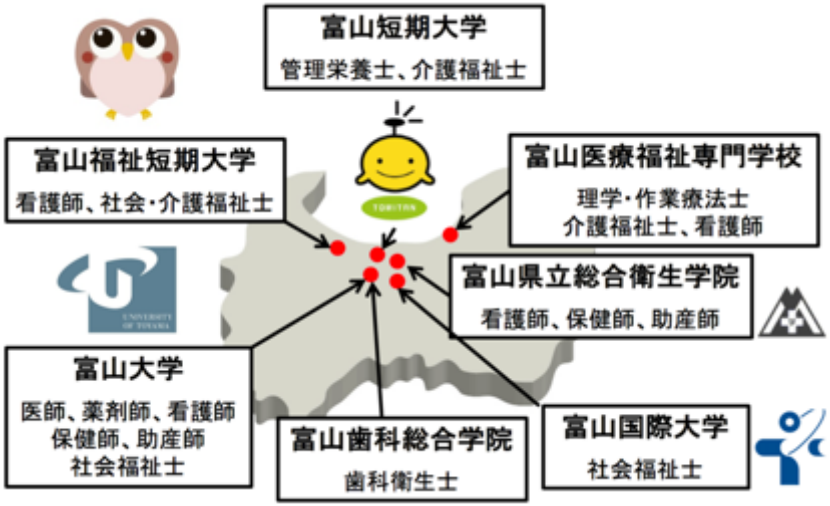
1. 南砺市：井波地区の地域包括ケア推進
2. 富山市：まちづくりマイスター継続研修会（富山市中央保健福祉センター）
3. 合同会議：南砺市の住民意識調査の計画

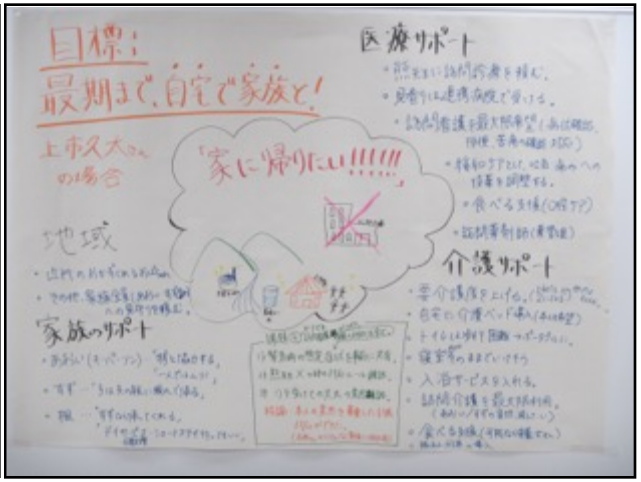
富山市チーム会議

南砺市チーム会議

④とやま多職種連携教育プロジェクト

とやまいぴー





学生と実務者が多職種連携について

お互いに学び合い、交流する場

2016年開催：第1回 5月14日、第2回 7月9日、第3回 9月3日、第4回 11月19日

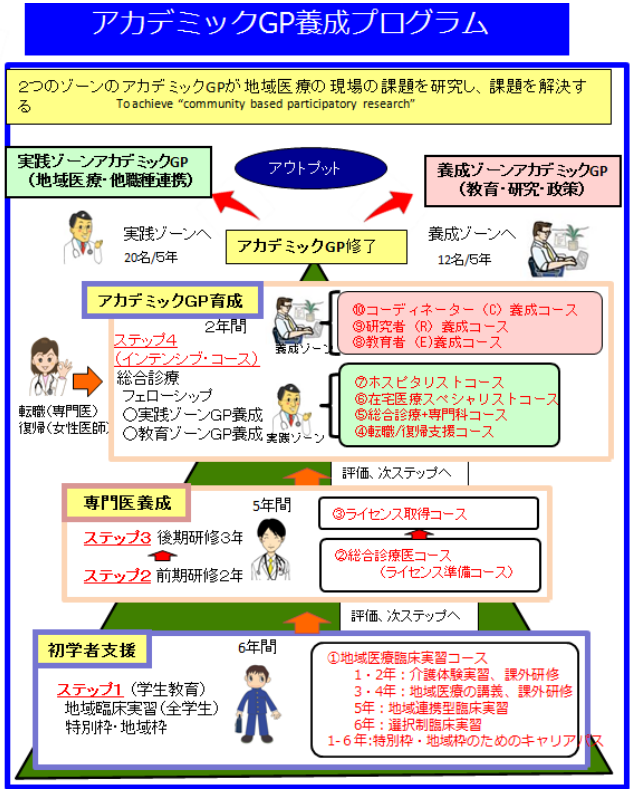
⑤保健活動協働プロジェクト
健康まちづくりのファシリテーター

富山市保健師と医師の協働作業（月３～４回）
→今年度、質的研究への発展へ

事例検討

2016年7月　世代を超えた子育て交流会
地域の絆をエンパワーメント

2016年9月　がん予防イベントにて
まちなか保健室



「アカデミックGP人材養成プログラム」

2016年(平成28年)度参加人数：

【学生コース】

ステップ1

①地域医療臨床実習コース：

・正規のカリキュラムの強化

（海外臨床実習サポート18名）

【研修医コース】

ステップ2

②総合診療医・ライセンス準備コース：

初期研修医4名、多科ローテーションを推奨する。

ステップ3

③総合診療専門医取得コース：

後期研修医8名（医員）、家庭医療専門医プログラム

【フェローシップコース1】

ステップ4

④外来診療スペシャリスト/転職・復帰支援コース

転職・復職者1名（医員）

⑤総合診療+専門科コース

0名（医員）

⑥在宅医療スペシャリストコース：

2名（医員）、総合診療部所属で診療所へ研修

⑦病院総合医スペシャリスト(ホスピタリスト)コース

2名（医員）、総合救急あるいは関連病院勤務

【フェローシップコース2】

ステップE（Education）

⑧総合診療の教育者養成コース

1名（医員）、臨床教育を学ぶ

ステップR（Research）

⑨総合診療の研究者養成コース

3名（医員）、臨床疫学/医療統計学を学ぶ

ステップC（Coordination）

⑩地域医療コーディネーター養成コース

1名（医員）、地域活動へ参加する。

認定証

富山大学総合診療部-南砺市民病院-連携病院
総合診療医育成―後期研修プログラム

プログラム責任者　山城　清二　殿

貴プログラムを日本プライマリ・ケア連合学会認定
家庭医養後期研修プログラム(ver.2.0)として
認定いたします

認定番号　第　014-068　号

認定期間　自　2014年4月1日
　　至　2019年3月31日

2014年4月1日

一般社団法人　日本プライマリ・ケア連合学会
理事長　丸山

総合診療医育成
後期研修プログラム

とやまNANTO-RENKEI
家庭医養成プログラム

後期臨床研修運営会議
毎月1回

プライマリ・ケア連合学会による後期研修プログラムVer.2（3年間）2014年

理念：
①標準的な家庭医の育成
②富山県/周辺地域の地域医療を守り育てる
③地域医療を高度先進医療として取り組む
④将来、国際的にも活躍する医師の育成

参加病院：
富山大学附属病院、南砺市民病院
かみいち総合病院、あさひ総合病院
高岡ふしき病院、飛騨市民病院
糸魚川総合病院

日本プライマリ・ケア連合学会認定

⑥家庭医療後期研修

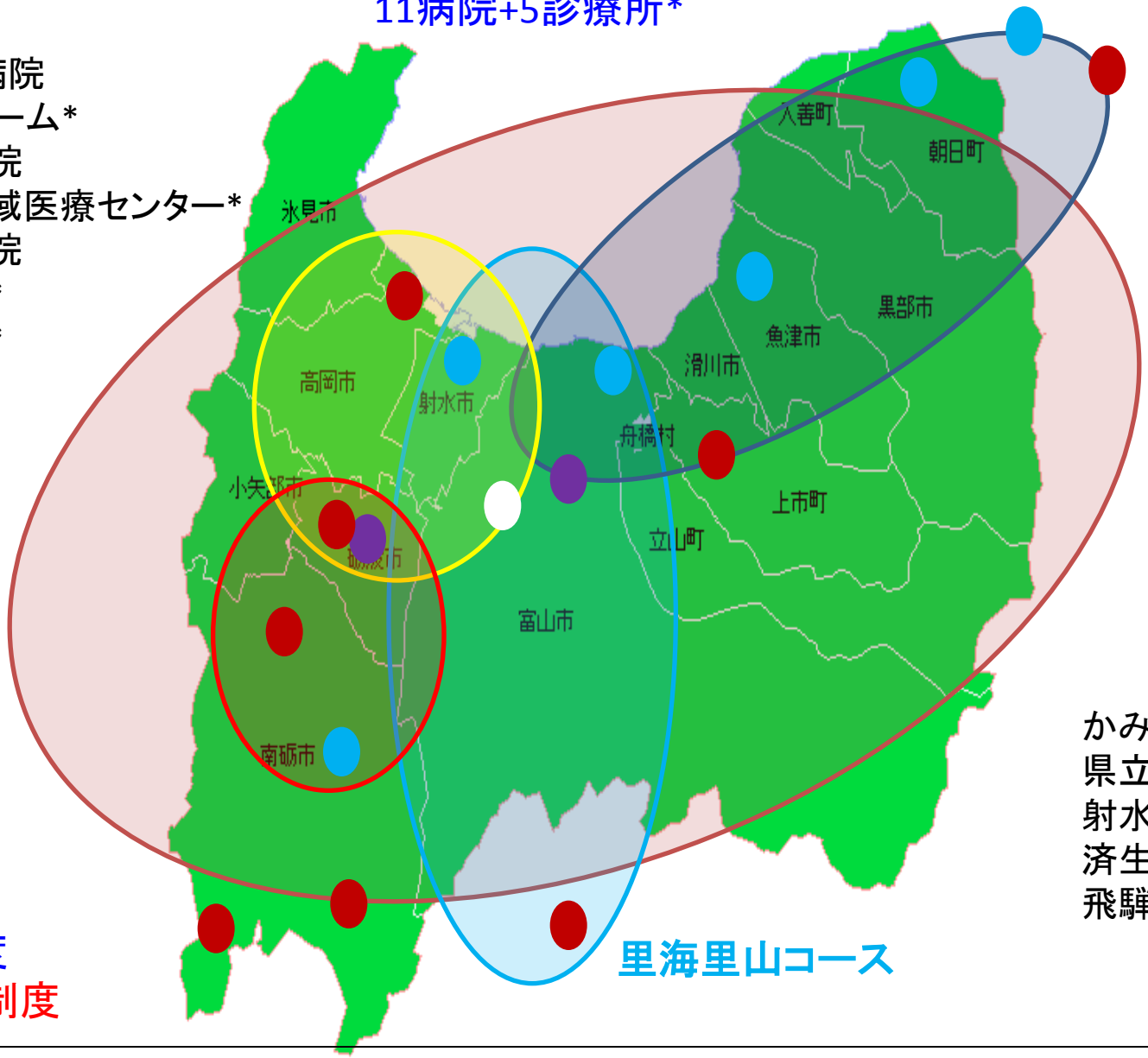
プロジェクト

2016年10月現在：　登録専攻医8名
家庭医療専門医4名

OJTを基本とし、毎月の勉強会、年2回の発表会を開催しています

富山大学附属病院（管理型）
11病院+5診療所*

高岡ふしき病院
ナラティブホーム*
砺波総合病院
南砺家庭地域医療センター*
南砺市民病院
上平診療所*
利賀診療所*



糸魚川総合病院
能生診療所*
あさひ総合病院
富山労災病院

かみいち総合病院
県立中央病院
射水総合病院
済生会富山病院
飛騨市民病院

里海里山コース

2017年度
新専門医制度

とやま総合診療専攻研修プログラム（Ver.3）

⑥学生向け勉強会プロジェクト

2016年は13回開催

家庭医療学や

ノンテクニカルスキルをテーマとして

やらんまいけ
TOYAMA
family medicine

学生・研修医のための Webカンファレンス

⑦臨床推論/EBMプロジェクト

隔週金曜日
午後4時30分～
外来・救急症例
（臨床推論）
家庭医療症例
（家庭医療のコア）

県内・周辺
関連施設

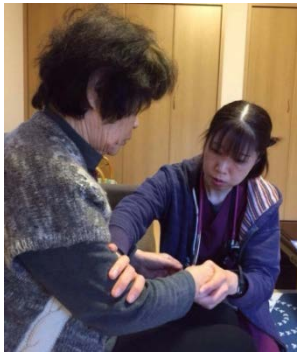
月1回
午後6時～
外来・救急症例
（臨床推論）

全国
関連施設

⑧在宅医療推進プログラム
プロジェクト

ものがたり診療所

参加者:2016年度　2名



ものがたり診療所で
1名研修中

函館陵北病院で
1名研修中

砺波市太田診療所（古民家改装）

⑩シミュレーション教育
（シミュレーション室/備品整備）

1)看護師・保健師・養護教諭への フィジカルアセスメント教育

地域医療崩壊の再生への取り組み
↓
ナース・プラクティショナー（NP）
NP的ナース（訪問看護師）養成講座(2010)
↓
養護教諭のための診察力アップ講座(2012)
↓
保健師のための診察力アップ講座(2014)
↓
CNSのための診察力アップ講座(2015)
↓
介護職員初任者研修（2015）
↓
CNSのための診察力アップ講座(2016)
↓
介護職員初任者研修（2016）
↓
あさひ総合病院研修会（2016）
↓
養護教諭のための診察力アップ講座(2016)
大学病院看護師のための診察力アップ講座(2016)

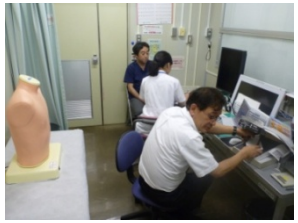
（2010）

（2016）

2)臨床実習後OSCE(6年生）
・シナリオ開発
・実施運営

・実施日時：
2014年7月5日
2015年7月4日
2016年7月23日
（トロント大学方式OSCE施行）

Dr Panisko
（医学教育）



2014年.2015年
シミュレーター使用

2016年
シミュレーター使用せず
臨床推論OSCE

2016年(平成28年)度:4月～10月

教育/特別講演会の企画

大学における位置付け

富山大学における将来構想
地域医療拠点形成プロジェクトクト構想図

富 山 大 学

医学部
医学科
看護学科

地域医療拠点形成プロジェクト
（三位一体の地域医療政策）

①地域で活躍する医師育成
（地域枠・特別枠学生キャリアパス
形成を含む）

②看護職者のキャリア支援

③富山県地域包括ケアシステム構築
（アカデミック総合診療医養成）

附属病院

事業の展開

1)総合診療医育成プログラム
2)イノベーションセンターの機能拡張
3)地域包括ケアシステムの構築
4)多職種連携教育/実践(IPE/IPW)
5)研究プロジェクトGeneral Lab推進